

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

オンデマンド講義

視聴時間約3時間

※受講必須のみの場合

リアルタイム研修

概 要		単 元 名／講 師			分
災害対応業務全般					
防災業務の全体像	1	防災行政概要	内閣府	◇	20分
法体系	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	内閣府	◇	15分
防災計画	3	防災計画の概要	内閣府	◇	15分
災害から命を守る					
	4	「避難情報に関するガイドライン」の経緯	牛山 素行(静岡大学)	◇	15分
	5	避難行動の概要		◇	20分
	6	防災気象情報の概要	気象庁	◇	15分
	7	避難情報の発令判断・伝達等	内閣府	◇	15分
応援・受援の基礎知識					
	8	受援体制と受援計画の概要	内閣府	●	15分
	9	地方公共団体間の相互応援と受援体制	内閣府 / 総務省 / 大野城市	●	130分
受援対象業務の概要					
	10	避難所の開設・運営の概要	内閣府	●	15分
	11	災害廃棄物処理の概要	環境省	●	10分
	12	被害認定調査・罹災証明書の概要	内閣府	●	10分
	13	インフラ復旧の概要	国土交通省	◇	15分
	14	災害ケースマネジメントの概要	内閣府	◇	15分
物資の調達・輸配送					
国視点	15	国としての物資の備蓄および災害時における物資の調達・輸送	内閣府	◇	15分
民間視点	16	救援物資の調達	コメリ災害対策センター	◇	35分
	17	救援物資の輸配送	佐川急便	◇	30分
新物資システムの 操作演習	18	救援物資ロジスティクス演習	内閣府	◇	30分

時間	単元	講師	分	単元の概要
9:30 ～9:35	- (オリエンテーション)	(事務局)	10分	
9:35 ～10:05	1 【講義】 地域の災害特性	長崎 地方気象台	30分	地域の災害特性（地域の脆弱性含む）、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。
10:05 ～11:05	2 【エスノグラフィー演習1】 大雨時の対応の実態と課題	内閣府 派遣講師	60分	平成29年7月九州北部豪雨を経験した大分県職員および日田市職員の体験談（エスノグラフィー）を教材に、災害発生前後の活動を確認し、行政の対応の流れや災害対応上の課題、活動上のポイントを学ぶ。
11:05 ～11:15	- (休憩)		10分	
11:15 ～12:15	3 【エスノグラフィー演習2】 応援・受援の実態と課題	内閣府 派遣講師	60分	令和6年能登半島地震に応援派遣された三重県いなべ市の職員の体験談（エスノグラフィー）を教材に、応援派遣された職員の視点から応援側・受援側の対応の流れや課題、活動上のポイントを学ぶ。
12:15 ～13:15	- (お昼休み)		60分	
13:15 ～13:45	4 【講義】 市町村のための人的応援の受入れに関する受援計画の手引き	内閣府	30分	エスノグラフィー演習によって得られた気づきを具体的にどのように受援計画に落とししていくのかを学ぶ。
13:45 ～13:55	- (休憩)		10分	
13:55 ～14:40	5 【演習】 応援受入れにあたっての課題と必要な準備を考える	内閣府 派遣講師	45分	災害時を想定し受援要請から応援受入れ時に取り組むべき活動について検討するとともに、受援計画の内容強化・充実化をはかるうえで、必要な取り組みについて考える。
14:40 ～15:40	5 【講義】 効果的な対応と応援受入れを実現するための事前の取組	危機管理 教育研究所 国崎 信江氏	45分	災害発生前後から応援受入れの実効性を確保するために必要な検討や取り組み（必要な応援を検討する手法）とポイントとなる事項を学ぶ。
15:40 ～15:50	- (休憩)		10分	
15:50 ～16:35	7 【演習】 全体討論（ふりかえり）	事務局	45分	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:35 ～16:45	- (閉講)	(事務局)	10分	

コーディネーター (株) 危機管理教育研究所 代表
【プロフィール】 国崎 信江氏

20年にわたり第一線で防災・防犯・事故防止対策を提唱している。行政、企業、マンションなどのリスクマネジメントコンサルを行い、省庁の検討・審査委員や自治体の防災アドバイザーなどを務めている。NHKラジオでは10年間マイあさラジオ「暮らしの危機管理」のコーナーで情報提供するほか、多くのメディアで被災地の支援活動時の経験や防災防犯普及啓発を発信している。防災・防犯の執筆・監修図書多数。